

分野別 まちづくりの 目標と方針

8. 環境と調和したまちづくりの目標と方針

目標

次世代に継承する、 地球環境に配慮したまちに

千代田区における活発な都市活動は、生活の利便性を高める一方、多くの資源を消費し、大気汚染、ヒートアイランド現象^{*53}、ごみ問題などの身近な環境問題をもたらしています。また、オゾン層の破壊、地球温暖化、酸性雨など地球規模の環境にも悪影響を及ぼしています。

そのため、限られた資源を大切にくり返して使う循環型のまちを目指すとともに、自動車による大気汚染を抑制し、環境への負荷が少ないまちとしていきます。さらに、鳥や昆虫が棲む自然環境をつくり、人が健やかに暮らせる生活環境を守るなど、地球環境にやさしく次世代に継承できる環境づくりを進めます。



53. ヒートアイランド現象：
13ページ参照。

方針1



限られた資源を大切にし、 省エネルギー型のまちを目指す

- まちづくりに際しては、土地を有効に利用し、また、複合的な機能（業務商業機能と住機能等を併せ持った機能）を持たせることにより、コンパクトで集約的な都市構造をつくり、省エネルギー型のまちにしていけます。また、土木事業・建設事業等で使用する資材は、再利用・再生利用が可能な製品の利用を優先するようしていきます。
- 限りあるエネルギーを効率的に活用するため、地域冷暖房^{*54}の推進、コージェネレーションシステム^{*55}、蓄熱式空調システムの導入、太陽エネルギー・地下鉄廃熱等の未利用エネルギーの活用を進めます。
- 駐車場を有効に活用するシステムの整備・情報提供の促進、大規模開発に対する交通環境予測評価制度^{*56}導入の検討を進めます。
- 限られた水資源を有効に利用するため、生活水の有効活用を促進します。また、公共公益施設や民間の大規模施設をはじめとする雨水の有効活用、下水処理水や雨水を利用した給水システムである中水道の利用を進めます。
- 区内で出たごみは区内で処理する自区内処理の原則を基本とし、分別収集の徹底など、資源循環型清掃事業の確立を目指します。また、製品の再利用・再生利用などのリサイクルを進めるため、資源化施設等の施設整備を推進します。
- ごみの収集や処理に伴う環境への負荷を軽減するため、ごみの減量を促進します。

方針2



地球にやさしく鳥や昆虫などが棲める 自然環境を回復させるとともに、 人が健やかに暮らせるための環境を守る

- 地球環境及びヒートアイランド現象^{*57}・大気汚染などの都市環境を改善するとともに、騒音・振動、悪臭等の生活・都市型公害を抑制し、きれいな空、おいしい空気、静けさなど、健康で快適に暮らせるための環境を保持・創出していきます。
- 発生源対策として低公害車の導入と普及促進、自動車排ガス規制の強化の促進を行います。
- 都心における皇居や大きな公園の緑、外濠・内濠の水辺などのこれまで培われてきた自然的環境を保全、回復します。
- 市街地を更新する際は、風の流れや緑化の促進、水辺環境の保全と活用、崖線の緑等を残す自然地形に配慮した敷地利用、建物配置を誘導していきます。

54. 地域冷暖房：

熱供給プラントで製造した冷水や温水を一定の地域の建物等に地域導管を通して供給し、冷暖房を行うシステム

55. コージェネレーションシステム：

ガスタービン、ガスエンジン、ディーゼルエンジン等で発電を行い、この際に得られる電気エネルギーと熱エネルギーを効率よく利用するシステム

56. 交通環境予測評価制度：

大規模開発を始める前に、その事業によって発生する交通が環境に与える影響について事前に調査、予測評価するとともに、その結果を公表し、地域住民の意見を聞く制度。

57. ヒートアイランド現象：

13ページ参照。

- 神田川、日本橋川と濠の水質浄化とともに、舗装面の透水性、浸透樹^{*58}の整備、無舗装地の確保などにより自然の水循環を再生していきます。
- 公園・広場、道路、水辺等の公共的な空間の緑化を進め、公園や広場、公開空地にビオトープ（鳥や昆虫などの生物が棲息する空間）をつくっていきます。また、沿道の民有地、公開空地、住宅やオフィスの屋上・バルコニー・壁面等の緑化を効果的に進め、点在するビオトープをつなげることで、より多様な生物が棲みやすくしていきます。
- 大気汚染や地球温暖化への影響に配慮し、自動車の交通量の抑制や、自動車交通の円滑化を図るため、公共交通機関や自転車の利用促進、路面電車の整備検討、自転車専用道の整備、交差点や車線の改良等を進めます。

住民・企業・行政が特に取り組むことは…



住民は…

- ・使い捨て品や過剰包装品の使用を自粛し、また、寿命の長い製品を購入し、長期間使います。
- ・再利用、再生利用による製品をなるべく購入します。
- ・節電、節水、省エネ型の自動車運転、太陽エネルギー・雨水の活用を努めます。
- ・庭、屋上、バルコニー、建物壁面の緑化に努めるとともに、生物の棲息場所がつくられるよう工夫します。
- ・庭や駐車場をすべて舗装しないよう努めます。
- ・環境調査や環境改善の取り組みに参加します。



企業は…

- ・使い捨て品や過剰包装品の製造・販売・購入・使用を自粛します。また、寿命の長い製品を製造・販売・購入・使用します。
- ・産業廃棄物を少なくするよう努めます。
- ・再利用、再生利用による製品をなるべく購入します。
- ・節電、節水、省エネルギー型の自動車運転、生ごみの堆肥化に努めます。
- ・敷地内の緑化に努めるとともに、生物の棲息空間がつくられるよう工夫します。
- ・地域冷暖房^{*59}やコージェネレーション^{*60}の導入、太陽エネルギー等未利用エネルギーの活用、雨水・中水の活用を努めます。

来訪者は…

- ・ごみは持ち帰ります。

58. 浸透樹：33ページ参照。

59. 地域冷暖房：45ページ参照。

60. コージェネレーション：45ページ参照。

行政は…

- ・分別収集の確立、ごみ処理ルートを整備などのごみ処理体制の整備を推進します。
- ・リサイクルのための施設整備を推進します。
- ・住民、企業との協働により、ごみの減量化とリサイクル推進に取り組みます。
- ・使い捨て品の使用を自粛し、また、寿命の長い製品を購入し、長期間使います。
- ・再利用、再生利用による製品を優先的に購入します。
- ・区施設における節電、節水、省エネルギー型の自動車運転、太陽エネルギー・雨水の活用に努めます。
- ・住民や企業と連携して環境調査を行います。
- ・区の広報をはじめとする多様な媒体を利用して環境に関する情報を提供し、普及・啓発を進めます。
- ・学校における環境教育の推進や生涯学習における環境学習の場の提供を進めます。
- ・区民や企業の環境保全に係わる自主的な活動に対し、情報提供、資金援助、コンサルタント派遣等の支援策を充実します。

進捗のものさしは…



- ごみの処分量
- エネルギー消費量
- 透水性舗装*61の延長
- 雨水利用量
- リサイクルのための施設の整備状況
- リサイクルモデル地区の設置状況
- 地域冷暖房*62、コージェネレーション*63の導入状況
- 太陽エネルギーの利用状況
- 生物等を含めた環境調査の状況
- 環境データの整備の状況
- 環境に係る情報提供、教育・学習の状況
- 住民・事業者による自主的活動の状況
- 環境保全に係る公的支出額 など

主な関連計画等は…

- 千代田区リサイクル推進計画
- 第二次千代田区リサイクル推進計画（策定中）
- 千代田区緑の基本計画
- 千代田区緑化方針
- 千代田区公園緑地等整備計画
- 千代田区環境基本計画（平成11年度策定予定）

61. 透水性舗装：33ページ参照。

62. 地域冷暖房：45ページ参照。

63. コージェネレーション：45ページ参照。